平成２５年度研究成果報告書《平成 25 年度教育課程研究指定校事業》

都道府県・指定都市番号	４０	都道府県・指定都市名	福岡県
学校名（生徒数）	福岡県立折尾高等学校（６９９人）		

（本研究に係る問い合わせ先）
所在地：〒807-0863　福岡県北九州市八幡西区大膳２丁目２３番１号
電話番号：（093）691-3561　　e-mail　info@orio.fku.ed.jp
研究内容等を掲載しているウェブサイトの URL：　http://orio.fku.ed.jp

【研究成果のポイント】

○ 研究課題番号：４高等学校
○ 研究対象教科等：教科「家庭」，科目「生活産業基礎」
○ 研究のキーワード：　・社会人講師との連携
・班別学習による言語活動の充実
・「課題研究」における『商品開発』との連携
○ 研究成果のポイント：・コミュニケーション能力の向上
・課題解決能力の育成
・企画力，マネジメント力向上による商品開発及び専門科目の学習に対する意欲の向上

【研究の目的，研究内容】

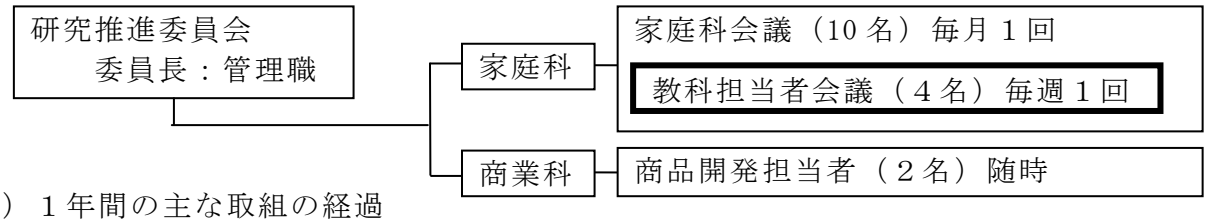
（１）研究主題

「生活の変化に対応した商品・サービスの提供」における指導及び評価方法の工夫

（２）研究主題設定の理由

本校では３年次の「課題研究」において『オリジナルブランド品開発』に取り組んでいる。しかし，３年次の１年間では，市場調査やマーケティングなどの基礎調査，関連法規などの学習が十分でないままに，商品開発をさせている現状がある。そこで１年次の「生活産業基礎」において，生活産業に対する消費者ニーズを把握して，必要な商品を「企画する能力」の育成や，それらを提供する上で必要な「マネジメント能力」の育成，さらに，生活の質の向上を図るために必要な知識と技術を習得させるための指導及び評価方法等の工夫改善について研究を行った。

（３）研究体制



（４）１年間の主な取組の経過

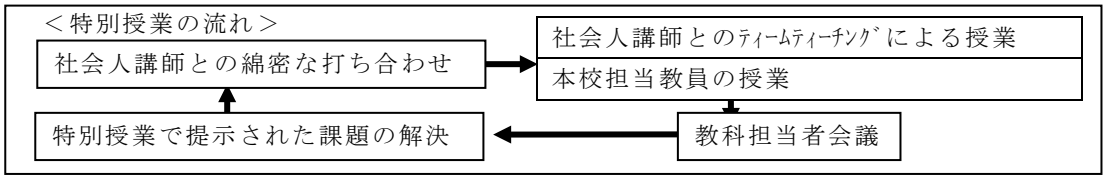
平成25年度	４月　事前アンケート
	５月　社会人講師授業①「消費者ニーズの調査と把握」
	６月　社会人講師授業②「企画実践①」
	７月　社会人講師授業③「企画実践②」
	９月　社会人講師授業④「消費者に信頼される商品とは」
	10 月　社会人講師授業⑤「商品情報の発信」
	文化祭，福岡県高等学校産業教育フェアにおいてオリジナルブランド品販売
	11 月　社会人講師授業⑥「営業実践・ロールプレーイング」
	12 月　公開授業・中間報告
	１月　生活産業と職業＜ジグソー学習＞
	２月　事後アンケート

（５）具体的な研究内容・方法，研究を進める上での工夫点等

ア　指導方法の工夫

（ア）　社会人講師との連携

社会人講師授業６回実施（講師：株式会社はかた本舗代表取締役黒木正剛氏）



（イ） 言語活動の充実

グループディスカッションやプレゼンテーションなどを多く取り入れた。

（ウ） ３年生「課題研究」における『商品開発』との連携

「課題研究」の『商品開発』において販売を開始した『30 品目　野菜たっぷり　おりこうカレー』の販売実習や広報活動に１年生も参加することで，３年生から多くのことを学び，意欲的に学習に取り組む原動力となった。

（エ） ＩＣＴの活用

板書とプレゼンテーションソフトによる映像を組み合わせて，効率的に情報を提示し，生徒の発表においても書画カメラやインターネットを活用した。

イ　評価方法の工夫

工夫した評価用ワークシートを場面に応じて作成し，指導に活用した。

【研究成果とその意義等】

（１）研究成果

ア　コミュニケーション能力の向上

グループディスカッション，代表者による発表，質疑応答などを繰り返し経験することにより，相手の言っていることを正確につかみとる力，自分の考えを分かりやすく相手に伝える力等のコミュニケーション能力の高まりが実感できた。

イ　商品開発に対する意識の変化

消費者ニーズの的確な把握や必要なサービス提供等を行う企画力・マネジメント能力が育まれたことにより、生徒の意識は「作りたいもの」から「消費者が求めるもの」へと変化した。

ウ　専門科目に対する学習意欲の向上

消費者のニーズを的確に捉えることが必要であること，そのためには，衣食住，ヒューマンサービスなどに関する必要な知識と技術を習得していかなければならないことを理解した結果，専門科目を学ぶ意欲の向上が見られた。

（２）研究成果の意義等

「生活産業基礎」の『生活の変化に対応した商品・サービスの提供』分野について，指導方法やワークシート，評価方法などの一例を示すことができた。また，１年次で，「企画力」「コミュニケーション能力」を育成し，３年次の「課題研究」へとつなげることで「生きる力」を育むことができると確信できた。

（３）指定期間終了後の取組

ア　指導体制づくり

『商品開発』を継続していくために，指導体制づくりを今後も強化していく。２年次での指導計画を検討し、１年次から３年次まで継続した指導を行う。また，家庭に関する学科と商業に関する学科が併置されている特性を最大限に生かし，相互に連携を図ることで、学科を超えた取組へと広げていきたい。

イ　地域とのつながり

商工会議所の紹介により地域イベントに参加する等，新しく始まった地域との連携を今後も継続し，地域に愛される学校づくりをさらに推進する。

ウ　広報活動

研究成果を学校全体に広げるとともに，福岡県産業教育振興会家庭部会とも連携し，研修会での発表や本校ホームページ等の活用により，県内外の家庭科教員に研究の成果を広く公開する。